



## 第 37 回 研修コーディネート・ワーク報告書（WEB版）

### 「インターネットを用いた次世代教育のあり方」

～オープンエデュケーションによる教育研修の可能性～

#### オープンエデュケーションとは

オープンエデュケーション（Open Education）とは「インターネットを使って、教材を無償で公開すること」の総称です。

オープンエデュケーションについて、MITの飯吉先生は3つのポイントをあげています。

- 1、グローバル化 国を超える、東京でMITの講義を受講できる
- 2、情報化 見える化
- 3、オープン化 誰でも見ること・学ぶことができる

また、オープンエデュケーションの構成要素は次の3つだと述べています。

- 1、Open Technology 教育の道具、ソフトウェアなど
- 2、Open Content コンテンツ、教材など
- 3、Open Knowledge 知識

#### 話題提供の内容

まずは、話題提供者の方からこれから起きる（であろう）社会や教育の変化について、その後にオープンエデュケーションの考え方などについてサルマン・カーン氏のVTRとともに解説していただきました。

2030年までに技術革新によって全ての仕事の50%が消滅する!!

<http://commonpost.boj.jp/?p=26143>

<http://commonpost.boj.jp/?p=19995>

#### ワークの成果

グループ A	<p>メリット：受講者からのフィードバックがある、グローバル化が可能、どの程度の知識や技術を有しているのかという進捗の見える化ができる、マイペースで学べる、いつでもどこでも学べる</p> <p>デメリット：個人情報（成績）の見える化、それによるモチベーション低下 自分で時間を作る必要（セルフコントロール）、語学の問題 相談相手が必要（相手自身、その教育）、業界や個人ごとのプログラムが必要</p>
グループ B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できるもの、できないものの区別を明確にする。（資格制度や知識系は活用できそう）</li> <li>・資格の認定自体はクローズで管理する必要がある。</li> <li>・学習のペースが自由というメリット。</li> <li>・通信教育の進化系（集合研修＋オープンエデュケーション）として活用できる。</li> </ul>
グループ C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育コンテンツを作ることに時間をかけるよりも「あるもの」「いいもの」を活用したほうが良い教育ができる？</li> <li>・使う人の力量が問われる⇒『学習コーディネーター』による適切なサポート</li> <li>・向上心ある者だけが生き残る仕組みになる可能性。</li> <li>・復習には使えるが、予習には使えない。知識の付与には有効だが、ヒューアンスキルは困難。</li> <li>・取捨選択の必要性。繰り返し見ることができるというメリット。</li> </ul>